

空手道

- 1 主 催 長崎県高等学校体育連盟 長崎県教育委員会
- 2 後 援 長崎県 (公財)長崎県体育協会 諫早市 諫早市教育委員会
長崎県空手道連盟
- 3 主 管 長崎県高等学校体育連盟空手道競技専門部
- 4 期 日 平成31年6月1日(土)・6月2日(日)
1日(土)個人形(男・女) 9時45分 個人組手(男・女)
2日(日)団体組手(男・女)9時15分 個人組手(男・女) 準決勝・決勝
- 5 会 場 諫早市飯盛体育館
- 6 参加資格 大会実施要領による。
- 7 参加申込 大会実施要領による。
- 8 競技方法 (1) 大会実施要領による。
(2) 団体・個人組手・・・トーナメント方式
(3) 個人形 ……得点方式およびトーナメント方式、無号令。
形は、JKF競技規定(平成30年度改定)から選択しなければならない。
第一指定形と、第二指定形は「付録7:指定形リスト」より、
得意形は「付録8:得意形リスト」から選択すること。
(4) 平成30年度県高等学校新人体育大会の団体組手4位、個人組手5位(8人)、
個人形3位(4人)までシードする。なお、個人組手5位(8人)、個人形3位(4人)までの
シード選手については、学校出場枠に含まないものとする。
- 9 参加制限 (1) 団体組手 選手7名(競技は5人制)
(2) 個人組手 選手4名+シード選手(ただし、1校における最大出場選手数は男女各8名)
(3) 個人形 選手2名+シード選手(ただし、1校における最大出場選手数は男女各4名)
(4) 各校ごとに、監督1名・コーチ1名とする。
(監督・コーチ等は、校長が認めた指導者とし、外部指導者の場合は、
傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入することを条件とする。)
(5) 外国人留学生について
団体 正選手の過半数を超えない範囲で出場を認める。
個人 参加制限はしない。
- 10 競技規則 (1) 全日本空手道連盟審判規定並びに審判規定JKFルールに準じて行う。
採点方法 運用については、全国高等学校空手道連盟競技規定並びに申し合わせ事項による。
(2) 採点方法は、勝率得点により順位を決定する。同点の場合は、決定戦を行う。
- 11 表 彰 大会実施要領による。
- 12 抽 選 会 大会実施要領による。
- 13 監督会議 6月1日(土)8時20分 諫早市飯盛体育館
- 14 そ の 他 (1) 下記のとおり、男女共、全国高等学校総合体育大会および全九州高等学校体育大会
への出場権を得る。

	団体組手	個人組手	個人形
全 国 大 会	優勝校のみ 1チーム	2位まで 2名	2位まで 2名
全九州大会	2位まで 2チーム	5位まで 8名	3位まで 4名

- (2) 各校監督は審判にあたることがあるので、審判員の服装(または、類似したもの)と笛を持参すること。
(3) 空手道衣および安全具については、全国高体連専門部の申し合わせ事項による。
(4) 空手道衣の左胸に入れる校名は、縦書で全体の大きさ7cm×15cm程度で、
文字の色は黒またはスクールカラーとする。一文字の大きさは5cm～7cm程度とする。
(5) 背部に個人名・校名(25cm×20cmの白布に男子は黒・女子は赤)を明確に書き、縫い付ける。
(6) 選手は、ニューメンホーVI・VII、正拳サポーター、ボディプロテクター、シンガード、インステップガード、
男子は更にセーフティカップを必ず準備すること。(マウスピースの使用は自由)
(7) 有段者は黒帯を着用すること。
(8) 過度の応援は避けること。(選手およびチームにペナルティを課す場合がある。)
フラッシュを使用しての写真撮影は禁止。
(9) 試合中、負傷のないように事前に十分指導すること。
(10) 試合中の負傷については各校責任をもって処置すること。
(11) 試合後の清掃に協力すること。